

医療事故報告の件数

I. 医療事故収集等事業 報告書

～財団法人日本医療機能評価機構～

・平成 18 年 報告件数(報告義務対象医療機関報告数) 1, 296件

事故の程度の内訳	平成 18 年 1 月～12 月	
	件数	%
死亡	152	11.7
障害残存の可能性が高い	201	15.5
障害残存の可能性が低い	731	56.4
不明・コード未選択	212	16.3

・報告義務対象医療機関(特定機能病院等) 273病院

・平成 18 年 12 月 31 日現在の報告義務対象医療機関の病床数合計は 147,836 床

II. 厚生労働科学研究 医療事故の全国的発生頻度に関する研究報告書

～平成 17 年度 総括研究報告書(H18 年 3 月) 主任研究者 堺 秀人～

・調査

期間 : 平成 15 年～平成 17 年

対象 : 特定機能病院を含む 18 病院

方法 : 各病院において、平成 14 年度の退院患者の診療録各 250 冊を無作為に抽出し、基準に基づき、レビューを実施

・結果

調査を実施した診療録 : 4, 389冊

死亡が早まり、なおかつ予防可能性が高い事象 : 7件 (0.16%)

有害事象の発生の比率 : 297件 (6.8%)

・有害事象の定義

(1) 患者への意図せぬ傷害(injury)や合併症(complication)で、

(2) 一時的または恒久的な障害(disability)を生じ、

(3) 疾病の経過でなく、医療との因果関係(causation)が認められるもの。